



平成 21 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 協和医科器械株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 池 谷 保 彦  
 ( J A S D A Q コード番号 : 3 0 5 2 )  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 柴 田 英 治  
 ( T E L : 0 5 4 - 3 4 5 - 8 1 4 4 )

平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間(連結・個別)  
 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)の業績予想について、平成 20 年 8 月 13 日付当社「平成 20 年 6 月期 決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正(平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,524	104	162	87
今回修正予想 (B)	28,423	270	333	177
増減額 (B-A)	△101	166	170	90
増減率	△0.4%	159.3%	105.0%	103.1%
(ご参考)				
前期実績(平成 20 年 6 月期第 2 四半期)	27,327	253	315	177

(2) 個別業績予想の修正(平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	25,990	△31	146	114
今回修正予想 (B)	25,722	62	246	166
増減額 (B-A)	△268	93	100	51
増減率	△1.0%	— %	68.8%	45.5%
(ご参考)				
前期実績(平成 20 年 6 月期第 2 四半期)	24,908	73	158	84

2. 業績予想修正の理由

(連結)

連結の業績につきましては、売上高は、当社での計画未達により、当初の業績予想を若干下回る見込みであります。利益面は、後述の個別見通しに加え、循環器関連の医療機器を販売する連結子会社

である株式会社オズにて、症例増加により、主力製品でありますバルーンカテーテルや冠動脈ステント等の高額消耗品の販売が順調に推移し、更に、高額備品の利益率が想定を上回ったことにより、売上総利益が当初の計画を上回る見込みであることから、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初の業績予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績につきましては、オズにおける高額消耗品の販売は引き続き好調に推移する見通しがありますが、当社にて、景気後退の影響により、取引先医療機関において大型医療機器を中心に設備投資が滞ることが予想されることに加え、本年4月からの売買契約の更新に当たり、値下げ要求が更に強まることも予想されることから、当初の業績予想より変更はありません。ただし、当社グループを取り巻く今後の経営環境については、流動的な医療機関の予算執行の状況に大きく依存しておりますことから、医療機関の動向を注視し、業績予想に修正の必要性が生じた場合には、直ちに開示いたします。

(個別)

個別の業績につきましては、売上高は、消耗品の販売については当初の計画を上回る見込みであります。備品の販売は、一部の取引先医療機関での予算執行の遅れ等により当初の計画を下回る見込みであることから、当初の業績予想を若干下回る見込みであります。利益面は、消耗品の仕入価格の低減努力および利益率の高い備品販売案件の獲得により、売上総利益は当初の計画を上回る見込みであります。また、新基幹系システムの2次開発スケジュールの見直しに伴い、減価償却費が当初の計画を下回る見込みであることに加え、販売費及び一般管理費の見直しおよび圧縮に努めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初の業績予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績につきましては、連結と同様の理由により、当初の業績予想より変更はありません。ただし、当社を取り巻く今後の経営環境については、流動的な医療機関の予算執行の状況に大きく依存しておりますことから、医療機関の動向を注視し、業績予想に修正の必要性が生じた場合には、直ちに開示いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上